

## 1 荘内藩ハママシケ陣屋特別展示

期間 6月20日(火)～7月10日(月)  
石狩道の駅 あいろーど厚田 にて

## 2 特別展示のギャラリートーク(展示解説)

日時 7月1日(土)①11:00～ ②13:00～  
解説約30分、質疑応答15分、自由観覧(会員のガイド)15分の約60分。  
会員6名を含め延べ33名。(午前12名、午後15名の参加)  
どなたも熱心に解説を聴かれ、質問も相次ぐ。



## 3 陣屋フィールドワーク

日時 7月2日(日)11:00～12:30

曇天。陣屋コースを歩くには格好の天候。

主に浜益区外から20名の参加。

石狩市役所からのバス利用者が11名。

終了後に道の駅により昼食並びに展示見学という流れ。

道の駅の展示会場において、参加者からは是非展示の解説をと要望の声が上がり、急遽佐藤睦会長の展示ガイドを行った。



## 4 『大地の侍』上映セミナー

日時 7月8日(土)13:00~16:00

会場 きらり多目的室

石狩市役所からバス運行。17名の利用。

「石狩道の駅 あいろーど厚田」にて開催中の「荘内藩陣屋特別展」見学後、13時から『大地の侍』上映セミナー。

50名を超える来場、予想を上回る盛況。

### 内容

1、陣屋研究会佐藤睦氏開催あいさつ

2、HAL 財団の佐々木氏より映画の主題や趣旨解説。

3、関秀志氏(87歳)(北海道史研究協議会副会長)のご講演

「北海道の開拓史と荘内藩の蝦夷地開拓」と題し約60分間の講話。

「北海道の開拓が本格化するのは明治期であるが、国策としての開拓は幕末から始まること、その代表的な開拓の事例が荘内藩の蝦夷地開拓である」と述べられ、幕末期北方警備に当たった東北6藩の中もっとも農地開拓に力を入れた荘内藩の経営の特色を解説される。

4、映画上映(105分)

5、セミナー後の感想

上映後は、明治開拓期の土族移民の変遷について、開拓使の北海道米作施策の転換等についての質問あり。

また、終演後電話やメールなどで寄せられた感想では、

- ・映画の画質や音声が良く感動させられたこと
- ・同じ石狩市に住んでいるが浜益の歴史を初めて知ることができ良かったこと。
- ・上映セミナー後に、ハママシケ陣屋跡を散策し、道の駅特別展示も見たが大変貴重な勉強になった。
- ・同じ映画の上映会を浜益温泉でできないか。

